

9 松岡映丘

《富嶽茶園》 一幅

昭和三年（一九二八）

絹本着色

本紙一八九・五×一〇〇・二



富士の麓、静岡県茶業組合より、大札を祝して献上された作品。小高い場所の茶畑の背景には、美しい姿の富士山が天へ届くかのようによびえる。また、松樹を手前には大きく、画中の所々に描いて、吉祥の意をより高めている。

画面に展開される風景には、海と山が織りなす緑豊かな景勝地の中、手前左側には昭和三年三月に架設したばかりの大井川鉄橋、その上部には煙を上げて走る蒸気機関車、さらに上部の駿河湾には大型船や帆船が描かれ、昭和初期の様子を反映している。大和絵を追

求して数々の大作を手がけた松岡映丘（一八八一〜一九三八）が写生を繰り返した後に仕上げた本作は、緑青と群青を基調とした清々しい画面に、くつきりとそびえ立つ富士が神秘性を醸し出している。また、本作品の表具には、当時、御物であった正倉院宝物の文様を範とした表装裂と、同じく正倉院宝物中の撥鏝（象牙を色染めして、そこに撥ね彫りで文様を表わす技法）に倣った軸首が用いられ、皇室への献上品として、一層、格式高いものに仕上げている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

## 大札 ― 慶祝のかたち

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 85

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 公益財団法人 菊葉文化協会

令和元年九月二十一日発行

©2019, The Museum of the Imperial Collections, Sanjōmaru Shōzokan